

地域主導による

地球温暖化対策フォーラム

～2050年カーボンニュートラルを見据えた松山を考える～

日時

令和4年11月25日(金) 13:30～15:40 (開場13:00)

場所

愛媛大学 メディアホール (松山市文京町3番地)
(愛媛大学総合情報メディアセンター1階)

フォーラム開催の目的

2015年のパリ協定以降、世界的に温室効果ガス排出量の削減に向けた取組が加速しています。一方で、極端な高温や低温日が増加し、豪雨や干ばつなどの異常気象が頻発、水害や土砂災害に加え、熱中症や熱ストレスによる健康リスクの増大、耕作被害に伴う食糧不足、居住困難地域の拡大など問題が顕在化しています。

国内では、昨年「地球温暖化対策推進法」が改正され、2050年カーボンニュートラルが基本理念に掲げられるとともに、新たな目標が示されました。松山市でも、現在、脱炭素社会の構築を目指した新たな「環境モデル都市行動計画」の策定を進めているところです。

今回のフォーラムでは国際的な取組のほか、松山市域の脱炭素ビジョンなどの講演を通して、パネルディスカッションで各分野から将来の松山について討論いただきます。

プログラム

時間	内容
13:30～13:35	開会挨拶 松山市 環境部 部長 中島 郁
13:35～14:00	特別講演 「フライブルク市におけるモビリティの Zero Emissionへの挑戦」 フライブルク市 第一副市長 ウルリッヒ フォン キルヒバッハ 氏
14:00～14:20	基調講演 「松山市の脱炭素社会ビジョン」 一般財団法人 日本環境衛生センター 西日本支局 環境事業部 次長 西 隆行 氏
14:20～14:30	休憩
14:30～15:30	パネルディスカッション 「持続可能な社会のもと炭素中立、循環経済、 自然共生を実現する地域循環共生圏の実現に 向けて」 ◆モデレーター◆ 愛媛大学工学部付属 環境・エネルギー工学センター センター長 中原 真也 氏 ◆パネリスト◆ ローカルSDGs四国 SDGs事業促進検討分科会 分科会事務局 明賀 洋志 氏 三浦工業(株) 熱利用技術ブロック 水素・FC技術統括部 部長 田中 靖国 氏 伊予鉄バス(株) 取締役 自動車部長 清水 達郎 氏 NPO法人森からつづく道 事務局長 黒河 由佳 氏 愛媛大学 社会共創学部生 武田 芽生子 氏 松山市環境部環境モデル都市推進課 副主幹 仙波 匡規
15:30～15:35	閉会挨拶 愛媛大学工学部付属 環境・エネルギー工学センター センター長 中原 真也 氏

申込方法

応募フォームより申し込みください。



[QRコード]

申込期限 11月21日(月) まで

定員 100名(先着順)

参加費 無料

連絡先

松山市役所 環境モデル都市推進課
〒790-8571松山市二番町四丁目7-2
電話089-948-6436 FAX089-934-1861
E-mail:ondankataisaku@city.matsuyama.ehime.jp